



すなおで
かしこく
すこやかに

南風

みよし市立南部小学校
学校だより 第10号

令和6年3月18日(月)
文責：教頭

ついに学校だよりも今年度最終号になりました。明日は6年生の晴れ舞台、旅立ちの日となる「卒業証書授与式」です。55名の6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

さて、先日の卒業式練習の時のことです。担任が子どもたち一人一人を呼名し、壇上で返事をします。一人の「はい」の音が、体育館に響き渡りました。純粹でまっすぐな瞳は6年間の頑張りを物語っているようでした。チャンスは一度きり。当日寒さや緊張でうまく返事ができなくなることもあるかもしれません。でも、この一回の返事に6年間の思いをぶつけてみてください。みなさんの立派になった姿を見てもらいましょう。

君に幸あれ！がんばれ南部っ子！！

3月1日(金) みんなで6年生と楽しい時を過ごしました！

「卒業を祝う会」が行われ、各学年から、出し物のプレゼントが贈られました。

トップバッターは4年生笑点。「卒業とかけまして…」のなぞかけでは、歓声と拍手がまき起こりました。次は1年生。今の6年生が1年生の時の運動会で踊ったダンスと一緒に踊りました。2年生は「思い出のアルバム」の歌にのせて、思い出のショートコントを披露しました。5年生は、6年生が1年生の時の写真を使って「私はだあれ？」のクイズを出しました。その後は、6年生対5年生の「3番勝負」。空き缶積み、けん玉、腕相撲の3つで対決しました。6年生からの出し物は、「みんなでダンス！」。体育館にいる全員が、6年生と一緒にいろいろなダンスを踊りました。

はじめから終わりまで、やさしさと笑顔がいっぱいの会になりました。企画、準備、進行をしてくれた5年生のみなさん、ありがとうございました。

3年生は、当日できなかった「祝う会」での出し物を後日披露しました。ピクミンの帽子をかぶったかわいい3年生と「すごーい6ねんせい」で、「猛獣狩り」ならぬ「ピクミン狩り」をいっしょにやりました。最後には、替え歌とリコーダー演奏のプレゼントがありました。楽しい時間を過ごしました。



南部小学校ホームページは、右の二次元コードからアクセスしてご覧いただけます。
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~nanbu/index.html>



ついに完成！ 創立150周年記念作品（銅板レリーフ）

一人一人が作成した「コトノハ（銅板レリーフ）」が一つの大きな作品となりました。3月14日（木）には、ついに完成した記念作品のお披露目会が行われました。作品が完成するまでのあゆみをスライドで振り返り、代表児童から作品を監修してくださった小島雅生先生にお礼の言葉を伝えました。小島先生からは、作品への思いを子どもたちに伝えていただきました。その後、作品が展示してある来賓玄関へ移動し、全校児童で作品を鑑賞しました。自分のコトノハを探したり、全体を眺めたり、歓声があがりました。ご来校の際は、ぜひご覧ください。

～中略～ 一人一人がつくった銅板を一つの作品にするために、ぼくたち実行委員で全校にアンケートをとった結果、正門に立っている『くすのき』が土台になるといいと話し合いで決めました。イメージは夕方。「今日も一日楽しかったね。明日も楽しく遊ぼうね」というイメージです。どんな作品になっているのか、とても楽しみです。
ぼくたち一人一人の思いを一つにまとめ作品を作ってください、本当にありがとうございました。



小島雅生先生は、造形作家であり、東海学園大学の教授でもあるんだニャン。西條校長先生とは大学時代からのお友達で、この創立150周年記念作品の作成を支えてくださった方なんだニャン。



実行委員のみなさんからいただいた思いを、どう作品に盛り込むかを考えました。一日を振り返る夕方の光に照らされた温かみのある色のオレンジ。もう一つの思いである『未来への希望』を新たに芽吹いていくイメージの色となるグリーン。それを南部小学校のシンボルツリーである『くすのき』を形取って着色していきました。あとは空気と風をイメージしたホワイトを全体に散りばめました。

みなさん一人一人の言葉や思いがあふれた作品に作っていてとても楽しくなりました。150周年という歴史ある瞬間に立ち会えてとても光栄です。わたしの方こそ、ありがとうございました。

記念作品の完成をもちまして、南部小学校創立150周年記念事業のすべての取組が終了いたしました。地域の皆様の支えがあって、今の南部小学校があることをあらためて実感しております。誠にありがとうございました。

これからも、子どもたちの笑顔があふれ、地域に愛される学校をめざしていきます。

伐採された「くすのき」を『みなみの森』へ！

現在、学校の東側ではみなよし地区拠点施設の建設が進められています。校歌にある「緑の丘」を作ってきた東側の「くすのき」も1本を残して伐採されました。その一部を工事関係者や地元の造園業者の協力を得て、学校地内に移動しました。

子どもたちに豊かな自然があったことを感じてもらうと昇降口に切株を展示しました。その後、6年生の力を借りて、この「くすのき」を南部小学校の運動場の南にある『みなみの森』へ移動させるプロジェクトを実行しました。「くすのき」を輪切りにして、椅子を制作し、子どもたちの憩いの場を作ることを子どもたちとともに考えました。

現在、『みなみの森』には、20個の切株椅子が設置してあります。6年生の卒業プロジェクトで、子どもたちの手によって、「くすのき」が形を変えてよみがえりました。

今は少し寒くて憩いの場という感じではありませんが、きっと夏には、木陰で涼みながら、「くすのき」の切株椅子で子どもたちがくつろいでいる姿が見られるのではないかと思います。

みなさんもお立ち寄りの際は、ぜひのぞいてみてください。



【伐採された「くすのき」の一部を運び出して、切り分けました。】



【昇降口に展示した切株】



【切株を加工し、やすり掛け！ 場所を決めて穴を掘ります。】



【みんなが集まりやすいように配置を考え、試しに座ってひと休み♪】

「くすのき」の香りが心を落ち着かせてくれます。

子どもたちの憩いの場所になってくれるとうれしいです。

3月2日(土) 【U-11 バスケットボール 交流試合】

2月に行われた川淵三郎杯サッカー大会に続き、5年生のバスケットボール部交流試合がみよし市総合体育館で行われました。

1試合目の対戦相手は、三吉小。1点差まで詰め寄られましたが、何とか逃げ切り勝利しました。2試合目は、黒笹小。試合開始から得点を入れられ、嫌な雰囲気になりましたが、選手たちはあきらめることなく戦い続け、逆転勝利を収めました。試合に出ている選手だけではなく、ベンチにいるメンバーも声を出し、アドバイスを送り、チーム一丸となって得た勝利です。応援の皆さんの声も力になりました。ありがとうございました。



最後まであきらめない全カプレー！
それが勝利につながりました！！

サッカー部、バスケットボール部はこの大会をもって、部活動が終了します。金管バンド部とバトン部は、現在、卒業式に向けて、南小タイム（2時間目と3時間目の間の長い休憩時間）に練習を続けていますが、卒業式での門送りをもって部活動が終了します。

子どもたちの活動を支えていただきありがとうございました。

